



たかおか

2022
April
NO.768 **4**

〔特集〕

通常議員総会において
令和4年度事業計画・予算が決まる



通常議員総会において 令和4年度 事業計画・予算が決まる

3月22日(火)、当所通常議員総会において令和4年度事業計画・予算が承認されました。

現在は新型コロナウイルス感染症の発生から3年目となり、感染対策の強化と緩和を繰り返しながら、新たな変異株の出現により、未だその終息の目途が立っていない状況にあります。このような中、令和3年度に見直した「高岡商工会議所地域振興プラン」の戦略をもとに、ポストコロナを見据えて活力ある地域づくりのために選択と集中を図りながら事業を推進します。

引き続き、新型コロナウイルスの影響が大きい飲食業や観光サービス業を中心とした中小、小規模事業者の伴走型経営支援に注力するとともに、IoTやAIなどのDX推進や事業承継、創業者支援のほか、中心市街地の空き店舗対策、SDGsの普及啓発を促進し、また城端線・氷見線のLRT化による直通化問題にも積極的に取り組んでいきます。

高岡商工会議所 地域振興プラン改訂版 3つの戦略

- 戦略1 交流人口の拡大による地域経済の活性化
- 戦略2 DX推進を柱とする企業競争力の強化
- 戦略3 働きやすい魅力ある都市づくりの推進

事業計画

注 ◎重点施策 ◆2024までの優先施策 N新規事業

戦略1 交流人口の拡大による地域経済の活性化

推進方法1-1

「ニューノーマルにおける新しい観光スタイルの推進」

○広域観光の推進

- (1)飛越能の玄関として、新高岡駅を拠点とする広域観光連携の推進

ア 新幹線まちづくり推進市民会議による利用促進事業

イ 北陸新幹線沿線都市物産展事業

- N ウ たかおかいっぴんセレクション事業
高岡の優れた土産品の選定と商品カタログの制作を行い、観光客向けにPR広報を行う。

- (2)県西部地域にある観光資源の歴史文化ストーリーの活用と発信

- N 県西部の魅力地発信事業

県西部の歴史文化や観光資源の魅力をインスタグラムによる動画や写真を制作・投稿し、地元のインフルエンサーを活用して情報発信する。

- ◆(3)地元の人々が地元の魅力を再発見するマイクロツーリズムを提案

ア 高岡の文化遺産めぐり

イ 県西部観光モデルコースの提案・発信
※とやま観光発信会との連携事業

- N ウ 万葉歌碑魅力発信事業
高岡市が進める「万葉歌碑魅力発信プロジェクト」と連携し、市内の万葉歌碑をめぐるツアーを造成するほか、インターネットを活用した情報発信を行う。

◎デジタル化に対応した観光対策の推進

- (1)SNS映えする魅力地の洗い出し等、興味を引く仕

掛けづくり

- N 県西部の魅力地発信事業 ※再掲事業

- (2)観光需要回復を見据え、インバウンド向け情報発信の充実

・免税店設置支援情報発信事業

- ◆(3)県西部6市の観光情報を発信する共通プラットフォームの再構築

○プロモーション活動の強化

- ◆(1)大都市圏等旅行会社へのツアー商品(個人旅行向け)の提案

ア 首都圏等出向宣伝事業

※とやま観光発信会との連携事業

- N イ 旅行会社招聘事業

県外旅行会社を招聘し、地域の強みである「ものづくり産業」と「歴史文化遺産」を組み合わせたモニターツアーを実施。旅行商品造成による旅行客の送り込みを要請する。

- (2)県西部DMOとの連携

- N 富山県西部DMOと連携会議を開催し、地域の観光振興を図る事業やPR広報を行う。

推進方法1-2

「藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり」

○個性あるキラーコンテンツづくりと市民意識の醸成

- (1)キラーコンテンツ(藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり)の確立

- (2)藤子F・不二雄先生ゆかりの地の発信

・藤子・F・不二雄先生ゆかりの地巡りスタンプラリー事業

- (3)ドラえもんトラム、モニュメント、電停のラッピング等の継続

推進方法1-3

「歴史文化遺産の活用・産業体験観光による産業の活性化」

◎歴史文化遺産の活用と地域産業の活性化

- (1)勝興寺の国宝化推進

ア 国宝化に向けた要望活動

イ 勝興寺周辺活性化事業

- ◆(2)歴史文化資源のモデルコース化

- N ア 県西部の魅力地発信事業 ※再掲事業

イ ふるさとの偉人連携事業

- (3)高岡古城公園の魅力向上策の推進

- (4)山町筋、金屋町、吉久(国重要伝統的建造物群保存地区)における出店支援等、観光まちづくりの推進

○産業体験観光の推進

- (1)産業観光参画企業の拡大
 - ・産業観光推進事業
- (2)旅行会社等と連携した旅行商品化の推進

- N** ア 旅行会社招聘事業 ※再掲事業
- イ 高岡食のブランド化事業 ※高岡市補助事業
昆布をテーマとした食のブランド化事業を推進中。これに加え、新たに「加賀藩前田御膳」をコンセプトとした食の開発を行い、高岡ブランドの確立を目指す。

推進方法1-4 「MICE招聘機能の充実」

○MICE招聘活動の支援

- ・各種関連団体の全国大会・スポーツ大会・修学旅行等の招聘活動の支援

○高岡テクノドーム別館の整備促進

- ◆・テクノドーム別館の2024年春完成への働きかけ

戦略2 DX推進を柱とする企業競争力の強化

推進方法2-1 「DX推進による経営力の強化」

◎企業特性に応じたDX推進サポートの強化

- ◆(1)デジタル化推進による生産性向上支援
- ◆(2)小規模事業者のDX支援を強化
 - ア デジタル化推進支援事業
 - イ 記帳指導対策事業
- (3)各種支援策情報の発信、支援機関との連携サポート
 - ・経営支援情報メールマガジンの配信

推進方法2-2

「伴走型支援による小規模事業者の経営強化」

◎創業・事業承継支援の強化

- (1)支援ネットワークを活用し、創業・事業承継に関して事業計画策定等の実施
 - ア 創業者支援事業 ※高岡市補助事業
- N** イ 高岡スタートアップ塾開催事業
創業予定者及び創業5年未満の創業者等を対象とした「高岡スタートアップ塾」(全5回)を開催する。(青年部との共同事業)
- ウ 事業承継相談支援事業

○ニューノーマルに対応したビジネスモデルの変革に挑戦する企業への支援強化

- (1)業態転換等に取り組む事業者の新たな需要開拓への支援
 - ア 経営発達支援事業(伴走型小規模事業者支援推進事業) ※国補助事業
 - ・展示商談会の参加に向けた事前セミナーの開催
 - ・展示会(ギフトショー)、物産展(大宮駅)への参加
 - イ 販路開拓支援事業
 - ・海外展開セミナーの開催
 - ・北陸三県ビジネスドラフトへの参加
 - ・ネット販促「ビジネスモール」への参加
 - ・JETROが行う「海外EC販売プロジェクト「JAPAN MALL」」の共催実施

○新事業展開・業務改善に取り組む企業への支援強化

- (1)中小企業施策(経営革新等)
 - ・各種補助金支援、専門家派遣等による伴走型支援
 - ア 制度改正に伴う専門家派遣事業 ※日商補助事業
 - イ 新型コロナウイルス感染症対応のための経営相談体制強化事業
- ◆(2)BCP(事業継続力強化計画等)の策定支援
 - ・事業継続力強化支援事業

推進方法2-3

「クリエイター連携による工芸都市高岡の産地継承」

○クリエイターとの連携による情報共有・経営支援

- (1)クリエイターと地元事業者との共同商品開発における販路開拓を図る等クリエイターとの連携による支援を継続実施
 - ・クリエイター交流事業
 - ※工芸都市高岡クラフトコンペ事業内で実施
- (2)事業者の海外進出、新分野開拓等情報共有及び伴走型の経営支援
 - ・販路開拓支援事業 ※再掲事業

○クラフトイベントの実施(支援)

- (1)クラフトコンペの継続開催
 - ・工芸都市高岡クラフトコンペ事業
 - ※クリエイター交流事業含む
- (2)市内クラフトイベントの連携開催
 - ・「高岡クラフト市場街」事業への支援と連携

○伝統技術の継承・発信

- (1)文化財の再現、修復事業の海外販路開拓(行政機関等との連携)
 - ・文化財修復拠点化事業

推進方法2-4

「呉西圏域連携による次世代産業の創出」

○関連機関との連携による新産業の創出

- (1)次世代産業等に関し、技術面や市場予測等の情報提供、地域企業の取組みを促進
 - ・産学官等交流連携事業

○企業誘致・支援施設充実の推進

- (1)地元企業の技術高度化に資する企業誘致
 - ・空き工場等有効活用事業 ※高岡市補助事業
- ◆(2)支援施設充実等の推進(理工系大学等の誘致等)
 - N** ・支援施設誘致推進事業

富山大学先進アルミニウム国際研究センターの誘致に加え、理工系大学の誘致に向けた調査研究を行い、高岡市等に要望活動を行う。

戦略3 働きやすい魅力ある都市づくりの推進

推進方法3-1

「働き方改革の推進及び健康経営の普及」

◎新しい働き方の導入支援の強化

- ◆(1)テレワークやリモートワーク等、新しい働き方の実現に対し企業支援を強化
- (2)経営者・従業員の意識改革の推進
 - ・働き方改革推進事業

○健康経営宣言の普及

- (1)情報発信、セミナー開催等による健康経営の普及
 - ・健康経営セミナーの開催

○移住・UIJターンの強化

- (1)「たかおか企業人材確保推進事業」の実施
- ◆(2)広域にわたる幅広い産業への就業機会と新居住空間の提供(行政機関等と連携)
 - ・たかおか企業人材確保推進事業 ※高岡市補助事業
- ①首都圏等における就職イベント及び移住フェアへの出展
- ②企業見学バスツアーの実施
- ③高校生キャリアサポートセミナーの開催
- ④HP、Web広告等を活用した情報発信

推進方法3-2 「都市交通機能の充実」

○都市交通機能の利便性向上

- ◆(1)城端線・氷見線のLRT化・直通化及び万葉線との一体化の研究・推進

(2)万葉線やあいの風とやま鉄道、バス等を含む県内総合交通システムの調査・検討

- N** ・LRT化を含めた県西部地域の交通ネットワークの調査研究
富山県西部産業開発協議会(会長 塩谷雄一)が主体となり、県西部の交通ネットワークのあり方について調査報告書を策定し、これをもとに県西部の商工会議所・商工会の機運の醸成を図るとともに、行政、JR等への要望活動を行う。

- 新高岡駅 飛躍的増加を目指す利用促進活動の実施
(1)北陸新幹線敦賀延伸に向け、新高岡駅の利用促進活動の実施及びかがやき停車の働きかけ
ア 新幹線まちづくり推進高岡市民会議による利用促進事業の実施
イ 国・県・市及びJRへの要望活動の継続の実施

推進方法3-3

「市街地再構築及び新高岡駅周辺のまちづくりの推進」

- ◎中心市街地と新駅を核とする都市の魅力向上の推進
(1)ローカル5Gやスポーツ施設等先進的なハード・技術投資を活用する魅力向上
ア まちづくり事業への支援
①「山町ヴァレー」の運営
②観光まつり(獅子舞、七夕まつり、なべ祭りなど)
③わくわくメルヘンランド事業
④まちなか魅力アップ(ギャラリー・情報発信)事業
⑤レンタサイクル事業 等
イ eスポーツ拠点運営支援事業
ウ たかおかまちのゼミナール事業

- ◆(2)中心市街地、ミニ再開発・空き店舗活用等の支援

- N** ア 空き店舗調査事業
中心商店街(末広町・御旅屋通り)の空き店舗対策の基礎調査として、富山県からの補助を受け、高岡市および末広開発(株)と当所が共同で実施する。
イ まちなか賑わい創出事業

- ◆(3)高岡駅～末広町・御旅屋通り～古城公園を結ぶウォーキングエリアの形成

- N** ・高岡駅周辺ウォーキングコースづくり事業
＜予算40万円＞
高岡駅を中心として末広町～御旅屋通り～古城公園を結ぶウォーキングコースを選定するため、コース沿いのお店や観光施設などをピックアップし、コースの魅力紹介を行うことで、賑わいづくりにつなげる。

- (4)新高岡駅周辺 広域通勤居住圏・広域観光拠点の構築

- ・高岡市や観光協会との連携によるPR広報活動の実施

- リノベーションまちづくりの推進

- (1)リノベーション物件の情報収集、起業相談等による支援
・高岡市との連携によるリノベーション物件の発掘と事業者への経営支援体制の強化

推進方法3-4 「商工会議所の体制強化」

- 商工会議所及び会員企業におけるSDGsの取組み推進

- ◆(1)高岡商工会議所SDGsの計画的実施
・当所SDGsの策定と宣言申請による事業の推進
◆(2)会員企業向けセミナー等の開催、事業計画策定等のSDGs取組み支援

N ・SDGs推進事業

会員事業所向けにSDGsの取組みを支援し、「たかおかSDGsパートナー制度」の登録を促進する。

- ①セミナーや勉強会の開催 ②事業計画策定支援
③個別相談窓口の設置 ④先進地視察

- (3)事務局のデジタル化の推進

- 商工会議所事業の強化

- (1)青年部、創志会、女性会等との連携強化
・定例会の開催

- (2)会員大会、会員企業PR事業、集合健康診断事業等の会員サービス事業の充実

- ア 雨晴海岸から望む立山連峰カレンダー事業

- イ 会員大会の充実

- ウ 集合健康診断事業

- エ 新春高岡経済懇談会

- オ 会頭杯会員親睦ゴルフ大会

- カ 会員企業PRコーナー

- キ 労働保険事務組合の運営 他

- (3)調査・広報活動

- ア 会報の発行

- イ FAX情報・経営支援情報メールマガジンの発信

- ウ LINE情報配信サービス

- エ 高岡ケーブルテレビ・ラジオたかおかのニュース番組の放送

- オ LOBO調査・高岡地域経済動向調査 他

- (4)事務局職員の資質向上(研修・資格取得の奨励)

- ・職員研修事業

◆その他の事業

- 1 交流連携事業

- ア 長野ほか北陸新幹線沿線商工会議所との交流
イ 一宮及び犬山商工会議所との交流

- ウ 能登地区、飛騨地区商工会議所、商工会との交流

- エ 県西部商工会議所との交流連携

- 2 伏木富山港利用促進事業

- ア 伏木富山港のポートセールス(大型客船及びRORO船の誘致)

- イ 伏木外港オートバイミーティング

- 3 地域活性化のための支援事業

- ア 富山サンダーバース冠試合の実施

- イ 「TOYOTA GAZOO Racing」開催への支援

- N** 4 高岡法科大学寄付講座「高岡学」の開講(4月～7月)
高岡法科大学との包括連携協定の締結により、高岡の経済人及び関係団体の代表者等による全15回の寄付講義を行う。

- N** 5 国際交流事業

- ・姉妹都市米国フォートウェン市訪問使節団への参加
米国フォートウェン市との姉妹提携45周年を記念して、同市への訪問使節団に参加する。

- 6 提案要望等意見活動

- ア 高岡市及び高岡市議会への提案要望

- イ 富山県及び富山県議会への提案要望

- ウ 日本商工会議所への提案要望

- エ 国及び関係省庁への提案要望

- オ JR等関係機関への提案要望

- 7 議員改選

- 議員の任期：10月31日まで(※新たな任期3年：令和4年11月1日～令和7年10月31日)

- 8 その他事業活動に必要な事項

PHOTO LIBRARY



令和3年分 決算・確定申告相談会を開催

確定申告書の作成を支援

当所会員の個人事業主を対象とした決算・確定申告の個別無料相談会を高岡商工ビルで開催した。個人事業主が所得税・消費税の確定申告を円滑に行えるよう当所が毎年この時期に行っているもので2日間にわたり、北陸税理士会高岡支部所属の税理士が相談に応じた。相談者からは仕訳の科目や減価償却の方法、税金の計算方法などについて質問があり、税理士が分かりやすく説明を行った。



高岡企業見学バスツアーを開催

地元企業の魅力や特徴を学生らに伝える

たかおか企業人材確保推進協議会は、市内の企業に就職を希望する学生を対象に、「高岡企業見学バスツアー」を開催した。ツアーは市役所を出発点として5企業を回るもので、当初は3コースを予定していたが新型コロナウイルスの影響もあり、1コースのみの開催となった。ツアーには高校生11名が参加し、それぞれの企業の製造現場や施設内を見学し、企業の特徴や業務内容の説明を受けた。参加者らは熱心にメモを取りながら、そこで働く自分の姿をイメージしていた。



常議員会を開催

新年度事業計画・収支予算(案)について審議

3月11日(金)、常議員会が開催され、5つの議案について審議がなされた。令和4年度事業計画・収支予算(案)や、新議員の選任、新入会員の承認のほか定款の一部改正(表決権の電磁的方法の導入)、理事の選任について説明があり、すべての議案が承認された。常議員会後には「パートナーシップ構築宣言」のビデオ視聴も行われた。



展示販売会 「高岡のうまみとたくみ」開催

日本橋とやま館で高岡の食と工芸の魅力をPR

高岡食のブランド推進実行委員会は、小規模事業者の販路開拓と当市の魅力発信を目的とした展示販売会「高岡のうまみとたくみ」を東京都の日本橋とやま館で開催した。人気の昆布商品や甘じょっぱい味わいがクセになる昆布スイーツの他、高岡の歴史文化を感じる「たかおかいっぴんセレクション」商品、伝統工芸「高岡銅器」・「高岡漆器」商品の展示販売を行い、高岡らしい商品の数々を首都圏にPRした。
(共催：高岡銅器協同組合、伝統工芸高岡漆器協同組合)



日本商工会議所感謝状贈呈

20年以上永年勤続議員8名が表彰される

高岡商工会議所第2回通常議員総会において、20年以上の永年勤続議員8名監事 (株)サンテン・コーポレーション 名誉顧問 山本 務 氏、議員 タナベ自動車 (株) 代表取締役会長 田辺 千秋 氏、議員 宮越工芸(株) 代表取締役社長 宮越 一郎 氏、議員 N・JETエンジニアリング(株)代表取締役 中黒 憲一 氏、議員 金森産業(株) 代表取締役会長 金森 米男 氏、議員 (株)アリタ 代表取締役会長 在田 吉保 氏、常議員 税理士法人Jタックス 鷺山 浩一 氏、議員 ゼオンノース(株) 相談役 板谷 勝義 氏が表彰された。



県連女性会が講演会を開催

県内各地でオンライン受講

富山県商工会議所女性会連合会は、日本M&Aセンター専務執行役員CCOで(株)出前館の前社長である中村利江氏を講師に迎え、「変わる事を恐れない経営 ～富山の女性に伝えたい経験談～」と題したセミナーをオンライン形式で開催し、高岡商工会議所女性会から会員15名が参加した。中村氏は創業時に売上高が年間2,600万円だった出前館を上場に導いた自らの経験を踏まえ、「経営者は変化を恐れず、常に時代の先を読まなければならない」と訴えた。



令和4年度 新入社員歓迎式・新入社員研修講座

新入社員が社会人としての 「心構え」と「基本」を学ぶ

令和4年度新入社員及び入社2年以内の方を対象に新入社員歓迎式・研修講座を行い、28社47名が参加した。24日の歓迎式では新入社員を代表し、株式会社ひかりファーマの小西未桜さんが「時代の変化に対応しながら日々研鑽し、企業と地域社会の発展に貢献していきたい」と決意を述べた。研修では講師に(株)さくらコミュニケーションズの古川智子氏、上田弥生氏を講師に迎え、コミュニケーションスキルや社会人のビジネスマナー、コンプライアンスなどについて学んだ。



3部会が合同で講演会を開催

城端線・氷見線のLRT化について理解を深める

当所観光・サービス業、運輸交通、建設部会が合同で「鉄道と都市の関係 ～城端線・氷見線への知見～」と題した講演会を高岡商工ビルで開催し、部会所属議員ら17名が参加した。講師の富山大学都市デザイン学部 教授 金山洋一氏から、鉄道が都市に与える社会経済効果や、都市経営の観点から地方鉄道には運行やサービスの利便性が重要であるという説明があり、参加者らは将来を見据えた持続可能な地方鉄道のあり方を学んだ。

